

ルニ又國ニ敗ルニ又ドウスル事又出来ナイハテス所ノ一家ヲ妻子ヲ養フ又
ノニ是以上非慘事カアルデセウロ。フーニツ場合組合員ハ等々團結シテ
仕事ヲ休シ生産ヲ停止シメテ、会社ハ生産ヲ停止シテ大ナル損失ヲ
兼知シテカウ天、ワツカオリノ約束ノ午あヲ支給シナイノカト労働者
團結ノ感力ヲ示スヲ他ニ仕方カアリマセン。此方法ハ世界ヲ通シテ最
又合理的な方法ナリ。吾政府デヤ正天此ノ方法ヲ推廣シテウツテ居リ
マス。

無論私達ハ此向非橋ニ苦シイデス。此後会社側態度如何ナリハ
如何ナル方法ヲ出ワルマ又知シマセン。就テハ運動資金ヲ貯ウル所ニ
一曾節約ヲ実行シ将来ハ必勝ス期スル所ナニ者令一切ノ買物
ヲ中止ス事ヲ申レ合也致シマシタ。兼テ購買力ノ少イ私達ノ此
ノ行爲ガ、幸々此ノ公認者及ボス影響者ハ極メテ少イ事ト思ハ
マスガ取敢スニ應出テ解ヲ得タイムデス。

組合労働者ハ若シイ中ニ斯ク又ニ身同体ノ如ク助け合ヒマス。斯
ク又正々堂々ト進シマス。私達ハ生野町繁栄ト労働者ノ幸福
ノ日カ近キ将来ニ来ル事ヲ確信シテ居リマス。第一ノ場合
ハ従大ノ御後援ト而シテ公明正大ナルハ批判ヲ願ヒマス。

右

大正十四年四月十八日

日本労働総同盟

神戸合同労働組合生野組合員

三百五十九連

町民右位